

# 植え付けサンゴ観察報告(万座、平成 18 年 7 月)

平成 18 年 8 月 3 日

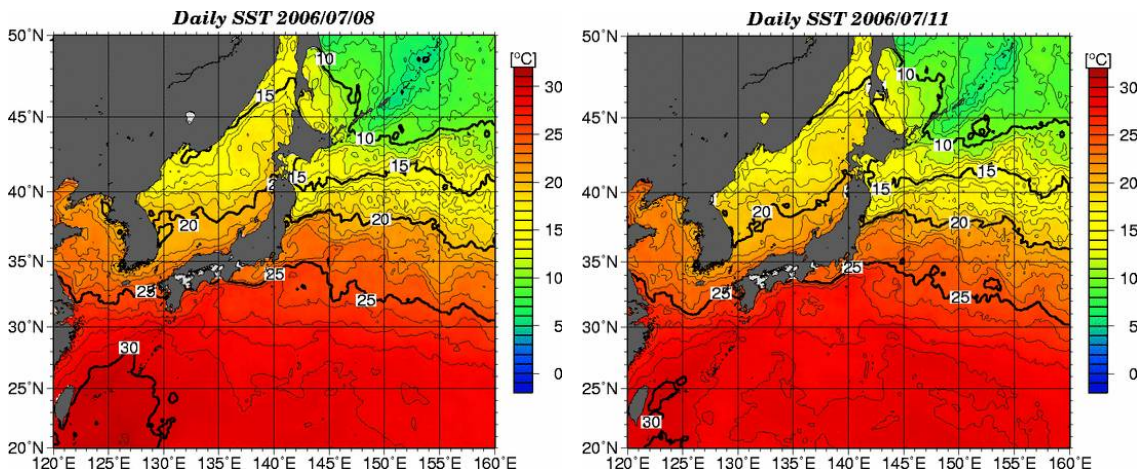
チーム美らサンゴ

- 1 観察日 平成 18 年 7 月 21 日
- 2 観察場所 恩納村万座
- 3 作業者 3 名
- 4 作業内容 観察と保護カゴの掛け替え

今回は、212 個体の写真撮影と 50 カゴの取替えを行いました。

## 5 経過報告

今年は、台風がなかなか接近せず、7 月に入って海水温度が 30 度以上になり白化現象が見られ、植え付けサンゴも影響を受けました。台風 3 号が通過した 7 月 11 日には、海水温が 28 度に低下し、サンゴは白化より回復しつつあります。しかし、25 個は白化により死亡し、5 個はいまだに白化中です。



気象庁ホームページ、海洋のデータバンク、海水温・海流のデータより



白化より回復しつつあるショウガサンゴ  
周りの白いのはポリプです。



同じく、Ac. Subulata、白い毛みいたの  
がポリプです。

## 6 観察結果

種名	17年春	17年秋	18年春	計
ショウガサンゴ	1	18		19
エダコモンサンゴ		23		23
スギノキミドリイシ	1	3		4
コエダミドリイシ		22	36	58
ヒメマツミドリイシ		8	8	16
タチハナガサミドリイシ		2	5	7
ハナバチミドリイシ		1		1
クシハダミドリイシ		1		1
Ac. Subulata	5	9		14
ムギノホミドリイシ		4	15	19
ホソエダミドリイシ	3	7	21	31
トゲホソエダミドリイシ			1	1
ヤッコミドリイシ	5	1		6
計	15	99	86	200
植え付け本数	40	116	92	248
生存率	38%	85%	93%	81%

## 7 観察報告

7月初旬に起きた白化現象では、24個が被害を受けました。その内、C岩の被害が12個と半分を占めました。種類別では、ショウガサンゴが8個、コエダミドリイシ5個が白化し、特に、ショウガサンゴが白化に弱いとの印象を受けました。

白化現象により被害が出ましたが、残ったサンゴはしだいに回復しています。植え付けたサンゴは、しだいに鮮やかな色を出すようになっていきます。少し、楽しみです。



18年春植え、Ac. Subulata



18年春植え、ヤッコミドリイシ  
色が回復しつつあります。





17年秋植え、クシハダミドリイシ



17年秋植え、ハナバチミドリイシ  
黄色が鮮やかです。



18年春植え、ヒメマツミドリイシ



18年春植え、トゲホソエダミドリイシ  
赤が鮮やかです。



18年春植え、コエダミドリイシ



同左のコエダミドリイシ  
成長が早いです。